

# 春近き日

小川未明

青空文庫



お母<sup>かあ</sup>さんが、去年<sup>きよねん</sup>の暮<sup>く</sup>れに、町<sup>まち</sup>から買<sup>か</sup>つてきてくださったお人<sup>にんぎよう</sup>形<sup>がた</sup>は、さびしい冬<sup>ふゆ</sup>の間<sup>あいだ</sup>、少女<sup>しょうじよ</sup>といっしょに、仲<sup>なか</sup>よく遊<sup>あそ</sup>びました。

それを、どうしたのか、このごろになつて、お人<sup>にんぎよう</sup>形<sup>がた</sup>は、しくしくと泣<sup>な</sup>いて、お嬢<sup>じよう</sup>さんに願<sup>ねが</sup>つたのであります。

「どうか、私<sup>わたし</sup>をお母<sup>かあ</sup>さんのところへ歸<sup>かえ</sup>してください。」と申<sup>もう</sup>しました。

少女<sup>しょうじよ</sup>は、どうしていいかわかりませんでした。お人<sup>にんぎよう</sup>形<sup>がた</sup>のお母<sup>かあ</sup>さんがどこにいるかということもわからなければ、せつかく仲<sup>なか</sup>よく遊<sup>あそ</sup>んだお人<sup>にんぎよう</sup>形<sup>がた</sup>に別<sup>わか</sup>れることも悲<sup>かな</sup>しかつたからです。

「私<sup>わたし</sup>は、お母<sup>かあ</sup>さんに聞<sup>き</sup>いてみます……。」と、少女<sup>しょうじよ</sup>は答<sup>こた</sup>えました。

すると、かわいらしいお人<sup>にんぎよう</sup>形<sup>がた</sup>は、目<sup>め</sup>をまるくして、

「どうか、お嬢<sup>じよう</sup>さま、そのことはだれにも話<sup>はな</sup>さないでくださいまし。」と、頼<sup>たの</sup>みました。

「おまえのお母<sup>かあ</sup>さんは、どこにいらつしやるの？ それがわかれば、歸<sup>かえ</sup>してあげてもいいわ。」と、少女<sup>しょうじよ</sup>は申<sup>もう</sup>しました。

お人<sup>にんぎよう</sup>形<sup>がた</sup>は、たいそう喜<sup>よろこ</sup>びました。

「毎朝、この窓のところへ、べにすずめがきます。あれに言づけしてもらえば、お母さんは、だれかきつと私を迎えによこしてくれます。どうかお嬢さま、私を明日の晩方、野原のところまでつれていってくださいまし。」と、真つ黒な目で見上げてねがいました。その晩は、いい月夜でした。もうじきに春のくることを思わせました。

翌朝、べにすずめが窓にきて鳴きました。

晩方、少女は、お人形を抱いて村はずれへきました。まだ、遠くの山々は、雪が光っていました。このとき、どこからともなく美しい馬車が前へきて止まりました。お人形は、その馬車に乗って、お嬢さまにお別れを申しました。やがて、黒い馬は、美しい馬車を引いて、あちらへ駆けていってしまつたのです。

# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 4」講談社

1977（昭和52）年2月10日第1刷発行

1977（昭和52）年C第2刷発行

底本の親本：「海から来た使ひ」岡村書店

1926（大正15）年7月

初出：「子供之友」

1926（大正15）年3月

※表題は底本では、「春《はる》近《ちか》き日《ひ》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：栗田美恵子

2019年2月22日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<https://www.aozora.gr.jp/>）で作ら

れました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 春近き日

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>